

令和4年度第2回常総市公共交通活性化協議会 会議要旨

■開催

令和4年9月29日（木）午前10:00～10:50 常総市役所議会棟2階大会議室

■出席

委員：海老原委員（女性団体じょうそう事業委員会），篠崎委員（自治区長連絡協議会），根本委員（交通安全母の会連合会），高橋委員（シルバークラブ連絡協議会），中村委員（市議会），広瀬委員（市議会），◎鈴木委員（筑波大学），國下委員（茨城運輸支局），富山委員代理（県交通政策課），早瀬委員代理（常総工事事務所），池田委員（常総警察署），北村委員（関東鉄道株鉄道部），岡野委員代理（関東鉄道株自動車部），相山委員（株アイヤマ観光），谷田部委員（関鉄労組），浅野委員（市商工会），細谷委員（市社会福祉協議会），宇都宮委員（筑波キングス・ガーデン），西田委員（副市長），横島委員（市長公室長），飯泉委員（総務部長），堀委員（福祉部長）

※◎：議長

事務局：戸塚都市建設部長，神達都市計画課長，前島補佐，小島室長，岡本係長，鈴木主幹（記録者），猪瀬主事

馬場専門員（市社会福祉協議会）

城平氏（株ケー・シー・エス）

■内容

議案第1号 コミュニティバスの運行概要（案）について

■協議内容（◆：議長，●：委員，▲：事務局）

開会 午前10:00

【コミュニティバスの運行概要（案）について】

- ◆： 本日の議論は基本的なルートの考え方について，皆様のご承認をいただきたいということ。詳細は次回の協議会で議論ということになるかと思う。また，運行経費もあくまで試算ということである。事務局からの説明の繰り返しになるが，福祉循環バスよりもルートを厳選し，運行経費は抑えられる

と思う。ただ、ある程度ルートは絞り込んではいるが、網羅的ではある。運行間隔については今後議論することになるが、その頻度により運行経費が変動することになる。ふれあい号が運行している中で、どのようにコミュニティバスを運行するか、ご意見をいただきたい。

- ： 常総市は総面積が大変広いので、それだけに費用的な面も負担が多くなっていくかなというふうに思うが、現時点でルートがどうだこうだと言っても実際に運行しないとその内容がわからない。運行をしてみてから、見直しをしていくという形をとっていくことが適正かなというふうに思う。
- ◆： 需要の予測は難しいものがあると思うので、やはり試験的に運行してみて、その状況を見ながら、柔軟に変えていくというスタイルになるかと思う。ただ、最初どういうふうにしていくかは決めないといけなくて、初期値をどうするかということを決めていきたいということ。適切な状態に近いところからスタートした方が収束しやすいと思うので、そういうことで、議論を尽くしてから試験運行という形が望ましい。事務局からお願いします。
- ▲： 今回お示したルートの基本的な考え方は、既存公共交通の関東鉄道常総線の利用促進をメインテーマとしている。また各地区からの移動ということでは、各投票所として設定されている公民館を經由し、その各地区から関東鉄道常総線の方にアクセスできるよう、コミュニティバスは市の東西方向を、常総線が南北方向の軸といったコンセプトで設定している。まずはルートの基本方針を承認していただいたら、本当にこのルートで適正なのかということも年内にもう一度協議したい。その際にはよりまとまったものをお示しできると思う。まず社会実験として約1年から3年運行し、アンケートや利用状況を見ながら、臨機応変にルートを変更していく。補足だが、地図上でオレンジ色がかかっているのは人口メッシュというもので、オレンジ色が濃くなればなるほど、人口が多いことを表している。今回は人が多く住んでいるところを主にカバーするような形でルートを設定している。繰り返すがこのルートで変更がないということではない。今回ご議論いただきたいのは、この基本的な考え方である。常総線を軸に東西をつないだ各地区へのアクセスというような基本的な考え方でもよいかというところの議論をお願いしたい。
- ： ルートに関してはすごくよいルートになってきているのかなと思うが、今後、少子高齢化により学校が統廃合なるわけだが、こういう課題も仕組みの中に入れていくのか、また小絹駅へのアクセスなども含めて、このルートを設定しているのか確認したい。
- ▲： 今まさに小中学校の適正化が進んでいるが、スクールバスの運行形態が有料になるのか無料になるのか等々、まだ決定されていない。コミュニティバスは有料で考えているので、道路運送法などの法規制がある中で混乗が可能か否かなど、庁内で議論を進めたい。小絹駅の件はつくばみらい市との調整はこれからだが、守谷市のモコバスやつくば市のつくバスなども市境に近いところまで来ているルートもある。議会の方からの要望や市民の声もあるので、広域的なコミュニティバスの接続についても可能性を探っていきたいと思っている。
- ： 説明は理解したが、統廃合が始まっている状況では、もうルートを決めていかないといけない。これから議論となるとちょっと難しいのかなという部分があるのではないかと。スクールバスを一般乗合

にしても貸切にしても、予算は膨大になってしまうので、そのあたりの見直しも今後あればよいと思う。

- ▲： スクールバスについて補足させていただくと、何も決まっていないということではなく、コミュニティバスとは別に教育委員会でスクールバスについて検討しているところ。現段階では、別々に検討しているということである。

- ： 乗合タクシー（ふれあい号）が市全域を低廉な運賃で運行しているが、ターゲットのすみ分けというか、利用者がお互い増えないという事態に陥らないか心配だがいかがか。
- ▲： ふれあい号はコミュニティバスの検討にあわせ、来年度にかけて見直しを行っていきたい。具体の検討はしていないが、行先を限定するなど各交通モードで役割分担を設定していきたい。
- ： ふれあい号とコミュニティバスの運賃にあまり差がない場合、ドアトゥドアで送迎してくれるふれあい号のほうが便利だと思われる。ふれあい号はだれでも利用できるのか。
- ▲： 利用者登録した市民が利用できるが、その全員がふれあい号を利用するのは車両数的に困難である。だから、まだ検討の段階ではあるがコミュニティバスのルートから外れた地域の住民限定にするか、または通院や生活必需品の買い物だけに利用を限定するなどの方法があると思う。
- ： ふれあい号の運賃が他市町村よりも安いと感じるが。
- ▲： 運賃の見直しも検討していく。

- ◆： 各ルートの資料はよくまとまっているが、経由する施設等が地図上のどこにあるのかわかりにくいので、改善いただきたい。また、それぞれのルートで共通する拠点がどこなのか、道の駅や水海道駅は複数のルートが乗り入れているので、そのあたりもわかりやすくするとよいと思う。

- ◆： 質問だが、資料3で参考につくばみらい市が載っているが、費用は通常のコミュニティバス分に含まれているということか。
- ▲： お見込みのとおり。つくばみらい市は朝5時台から7時台にみらい平駅周辺を小さく運行し、以降は通常のルートで運行しているようである。

- ◆： 他にご意見はあるか。今日この議題だけで、せっかくお集まりいただいたので、忌憚のないご意見いただければ。
- ▲： 資料1-2に運行経費を記載している運賃は200円としているが、これは未定なので訂正させていただく。また、台数の考え方だが運行ルートを4ルート設定しているが、4台の運行の場合は、毎日同じルートを各1台配置し、大体1時間に1便くらいの運行頻度になる。3台の場合では、1~2時間に1便または曜日ごとの運行となり、2台の場合だとその頻度がさらに低くなる。昨年度は、バスは毎日運行しなくてもよいといったご意見もあったが、このあたりについてご意見はあるか。運行時間についても朝7時台から夜19時台と設定しているが、朝8時台から17時台または16時台というように短めに運行開

始して、利用状況や要望を受けて運行時間を拡大していく方法もあると思う。これらは運行経費に大きく影響するが、自由なご意見をいただきたい。

- ◆： 運行時間は通勤・通学まで見込むか、日中の利用に絞るかを考える必要がある。また、各ルートは結節点でつながっているので、たとえばルート1を運行した後にルート2を運行するといった、運行経費を考慮した柔軟な対応も可能だと思う。この場で意見が出ないのであれば、運行頻度を優先した案と経費を考慮した案を次回提示いただいたうえで議論をするということによろしいか。
- ： 委員それぞれの立場があるわけで、その立場で意見するか、全体最適を考えるか。それぞれで意見は違うのだから、事務局が検討した案でやってみればよいと思う。試験的な運行をしたうえで、最適な運行形態が決まってくる。人口が減少し、学校統廃合の問題があり外国人は増えている。アグリサイエンスバレー構想で進出する企業もあり、その受け皿となる住宅地だって必要になる。そういったことに方向づけできるのが市役所なんだから、人口増加につながるような取組みが重要だと思う。
- ◆： ほかにご意見ないようなら、この議題については以上とするがよろしいか。
- ： 異議なし。
- ◆： それでは今日お示しいただいたルート案を基本に、検討を進めていくということで承認いただけたものとする。

【その他】

- ・事務局から今後の検討スケジュールについて説明、意見なし。
- ・次回協議会は12.23開催予定。

閉会 午前10:50